



迫力の舞で観客を魅了

「わ」をテーマに南部神楽大会

町教育委員会主催の南部神楽大会が1月18日、平泉文化遺産センターで開かれました。

地元達谷窟毘沙門神楽をはじめ岩手県南、宮城県北の5団体が出演し、多彩な演目を披露。

かねや太鼓の音に合わせて伝統に培われた舞が披露されると、訪れた観客からはたくさんの拍手が送られました。

なお当日は、観客による人気投票が行われ「弁慶安宅の関」を上演した一関市の達古袋神楽が選ばれました。



達谷窟毘沙門神楽は「月見坂の危難」を披露

厄災消除、無病息災を祈願

毛越寺二十日夜祭

1月20日、毛越寺常行堂の二十日夜祭が行われ、厄災消除、無病息災などが祈願されました。二十日夜祭は、一山の僧侶たちが常行堂で続けてきた祈とうが満願するのを祈って行われているものです。

堂内では本尊の阿弥陀如来、摩多羅神への献膳式、常行三昧供が行われました。摩多羅神に奉納される野菜献ぜんは、千葉キクエさん(11区)宅でこの日作られたもの。千葉さんのお宅では、70年以上にわたって野菜献ぜんづくりを続けていて、この日は集まった5人によって一つ一つ丁寧に作られました。



奉納された野菜献ぜん



活動内容や課題について討論する構成団体代表者

今後の活動について考える

ひらいずみ女性の集い

第8回ひらいずみ女性の集いが1月11日、「心豊かな地域社会を目指して」をテーマに、文化遺産センターで開かれました。第1部では、奥州市胆沢区で農業を元気にする活動をしている及川久仁江さんと、町農業委員の千葉とみ子さんが「今!! 農業がおもしろい」と題して対談。会員ら120人の参加者は、興味深く聞き入っていました。

第2部では、各団体が抱える課題や新年度の取り組みなどについて、構成する8団体が発表、パネルディスカッションを行いました。



厄男たちによる「火たきのぼり」



受賞を報告する千葉さん(写真右)

千葉純さんに全社協会長表彰 社会福祉の発展に功労

社会福祉協議会・民間社会福祉団体功労者として全国社会福祉協議会会長表彰を受賞した千葉純さん(12区)が12月25日、青木町長を訪れ受賞を報告しました。千葉さんは、町社会福祉協議会役員としてさまざまな事業運営に貢献されるなど、多年にわたる福祉活動への功績が認められ、受賞されました。

千葉レイ子さんに県知事表彰 公衆衛生功労者



受賞を喜ぶ千葉さん

町食生活改善推進員の千葉レイ子さん(19区)が公衆衛生功労者として知事表彰を受賞しました。千葉さんは、昭和61年度に食生活改善推進員養成教室を修了し、町食生活改善推進協議会に入会以来、地域において食生活改善普及活動を積極的に推進。さらに健康づくりのため玄米ニギニギ体操普及にも取り組まれています。



国際リニアコライダーがやってくる!?

第8話 「ケロ平、青木町長と会談する(2)」



ILCが誘致されると、この付近はどうなっていくだろう?

町長…まず第一に、世界各国からILC研究者とその家族が訪れるから、国際色が豊かになると思う。

ケロ平…そっかあ、そうなると将来を担う子どもたちにいい刺激になるね。

町長…それ以上に大きいのが関連産業の発展。ILCの技術は、半導体や液晶パネルなどに止まらず、新薬の開発やがん治療にも活かされると期待されているんだ。

ケロ平…それはすごい!

町長…日本の未来が変わるかもしれない大きなプロジェクト。ぜひとも誘致したい!

ケロ平…金色堂が建立されたことによって、この付近に建築や装飾などの最先端の技術がもたらされたのと似ている気がする。

そう、平安時代以来の大きな機会。そしてその誘致のポイントは、広域で連携しての取り組みしかない!

ケロ平…分かった! じゃあ隣の一関市や岩手県の取り組みも重要なんだね。一関市長にも話を聞いてみたいな。

(つづく)

2013岩手県ケロ平 designed by センウェル

